

### 児童福祉法の改正で 保育時間は確保されるか 国は保育の長時間と 短時間の区分を検討中



日本共産党  
武田 猛見議員

**問** ①児童福祉法24条の改正で保育時間確保が問題になっていくがどうか。

②市町村の実施義務が曖昧になって、直接契約が増えることに問題はないか。

③施設の建設や改修のための国の補助制度は廃止されるが対応は。

### 学童保育クラブへの 委託料の減額は問題

**答** ①保育時間は、新制度では、現行の長時間保育とパートタイムを想定した短時間とに区分する方向で国において検討されています。

②実施義務以外の保育は、市町村が確認してから給付を行うこととなります。

③新制度では、施設型

政状況において、村全体の経費の縮減が求められている中で見直しが必要と判断しました。

### 大雨による農地 被害と復旧対策は

**問** ①大雨による復旧と被害農家への減免対策は。

②悩んでいる農家に被害届提出を促す取り組みは。

**答** ①減免も含めて、土地改良区と共に稲刈り後に取組みます。②被災の把握と共に、新たな被災報告の相談に応じて対応します。



### 安心して暮らせる 高齢者の環境は

施設は全体で  
209床の整備予定



日本共産党  
桜井 博義議員

**問** 高齢者の住みよい環境として、養護老人ホームの充実が欠かせません。入所待機者数と今後の対応策は。

**答** 実数で47人、うち早期に入所が必要な方は7人です。盛岡広域圏では緊急を要する待機者が170人います。26年度までに、施設は全体で209床の整備予定です。

**問** 高齢者の介護予防が不可欠と考えますが、現状と今後の取り組みは。

**答** 虚弱な人を対象に「パワーリハビリテーション」、「脳いきいき教室」、「いきいきサロン」

借の簡素化と合理化の動向を注視し取り組みます。

### 農家・農地のアンケートを実施して活用するかの。

**答** 農家の将来の営農や土地利用の意向を把握するために実施しました。活用については農業振興計画の見直しや、農地集積のための農地中間管理機構の創設や、今後の施策を活用し農地の維持に努めます。



**問** 損傷激しい側溝の蓋交換の実施状況と今後の計画はどうか。

**答** 設置後40年以上を経過しているものが数多く、交換枚数は年々増加しています。

23年度に国分自治会から蓋交換の要請があった際、村が蓋を支給し、地元住民により設置作業を行い、新しい蓋に更新しました。

昨年度と今年度は、上の山自治会で同様の作業を2度にわたり実施

**問** 今年度始めた「地域健康づくり連絡会」の狙いは何か。

**答** ①国が示す基準に沿って条例を制定し進めていきます。②クラブ数の増加によって委託料が増えています。厳しい財

施し、「マイロード意識」が徐々に浸透しています。

**問** 「ラジオ体操第2」や「村民歌」は学校で教えているのか

**答** 「ラジオ体操第2」を扱っている学校はありません。

「村民歌」を指導している学校はありませんが、「いいねふるさと」は小学校1校が学習発表会で合唱しています。

**問** ユネスコ設置要請にどう対応するか。

**答** 趣旨に賛同し、設置の動きがあれば、連携協力に努めます。

**問** 学校施設の吊り天井など非構造部材の耐震化対応は。

**答** 学校施設で吊り天井に該当するのは、講堂、校舎多目的ホール等3校です。

該当施設は、建築基準法に基づく定期調査、施設の構造・経年劣化の状況や震災後の状況等から一定の安全性は確保されていると考えます。

**問** 消防車両へのカーナビの設置は。

**答** 消防団のポンプ車には全ての地域が詳細に掲載されている住宅地図を装備しています。しかし、カーナビの装備により、目標までの最短コースの検索や、周辺の水利情報を記録しておくことなどのメリットがあるため、導入に向け検討します。

また、他の施設についても全庁的な施設保全計画を策定します。

**問** 小型家電製品のリサイクルは。

**答** 小型家電リサイクル法は、ごみの減量化や資源の再利用への有効な手段です。新しいリサイクルセンターの関連施設の完成も間近で、更なるごみの減量化や資源の再利用化を図るため、現在のごみの分別及び収集方法の変更と併せて検討します。

**問** 厳しい農業政策によって農地の流動化・集約化が進まず、非効率な農地は遊休農地化していますが、今後の取り組みは。

**答** 耕作放棄の状況を把握し、指導します。今後、農地中間管理機構の創設による農地貸

等を行い、自立を支援しています。今年度からは地域に出向き「地域健康づくり連絡会議」を開催しています。

**問** 厳しい農業政策によって農地の流動化・集約化が進まず、非効率な農地は遊休農地化していますが、今後の取り組みは。

**答** 耕作放棄の状況を把握し、指導します。今後、農地中間管理機構の創設による農地貸

### 住みよい滝沢市を めざした住民協働は マイロード意識などが 徐々に浸透しています



新志会  
高橋 盛住議員



### 非構造部材の 耐震化対応は

施設保全計画を  
策定し対応



日本共産党  
中原 孝彦議員

**問** 耐震化対応は。

**答** 耐震化対応は、建築基準法に基づく定期調査、施設の構造・経年劣化の状況や震災後の状況等から一定の安全性は確保されていると考えます。

